



南部教育事務所便り「南の風」

令和8年1月22日 南部教育事務所 第9号



令和7年度 小学校体育専科教員 授業公開

体育科学習における県内教員等の指導力の向上と授業改善の充実を図り、より多くの運動好きな児童生徒を育成することを目的とした「令和7年度 小学校体育専科教員（小林市立三松小学校 末原義国 教諭）授業公開」を1月16日（金）に開催しました。県内の小学校教諭、大学生、大学の教授等約40名が参加しました。①オリエンテーション ②実技研修会 ③授業公開 ④事後研究会の日程で実施し、第5学年、ボール運動「ネット型」教材名「テニピン」の授業でした。実技研修会では授業についての説明を受け、参加した先生方が実際に授業を体験しました。授業公開では、運動が得意・不得意に関係なく、すべての児童が輝けるテニス型授業を目指し、エキスパート活動、ジグソー活動、クロストーク活動、ゲーム等を通して、どうすれば得点につながれるかについて、児童が主体的に学習する姿が見られました。事後研究会では、授業の視点（①ひとりひとりが問いをもつ学習指導の工夫 ②なかまとなって学び合う学習指導の工夫 ③深く考え、高めていく学習指導の工夫）をもとにしたグループ協議を行いました。児童の実態を把握して問題状況を子どもと共有し課題を設定すること、子どもが必要感を感じ、主体となって学ぶための手立て、運動時間を確保するための手立て等、様々な意見が出され、授業づくりのポイントについて熱心な協議が行われました。



CS（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動の一体的推進に係る課長等会

南部教育事務所では、管内市町の学校教育主管課及び社会教育・生涯学習主管課の課長と担当者が一堂に会し、CSと地域学校協働活動の一体的推進のための方策について協議する標記会議（以下、「課長等会」）を年2回開催しています。令和7年度については、第1回を令和7年5月9日（金）、第2回を令和7年12月24日（水）に開催しました。

第2回課長等会では、学校現場におけるCSと地域学校協働活動の一体的推進についての理解が、管理職などの一部の教職員のみに留まっている状況を踏まえ、「教職員の理解浸透」をテーマにした協議を行いました。

各市町の課題や原因、対策について協議することを通して、「学校教育主管課と社会教育・生涯学習主管課の連携」や「研修の必要性」等が話題に上がり、各市町の状況を踏まえ、具体的に取り組んでいくことを確認しました。



南部教育事務所のホームページにおいても、随時情報を発信しています。研修等にご利用ください。

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc063>

南部教育事務所HPはこちら

Tel (0986)23-4521

